

大阪府歯科保険医協会
大阪府浪速区幸町1-2-33
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円 月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

危機打開に程遠い改定率

社会保障費削減 大半を診療報酬で

塩崎恭久厚生労働大臣は13日、中央社会保険医療協議会(中医協)に対して2016年度診療報酬改定の改定率と基本方針を示し、具体的な点数設定に関する調査や審議を諮問した。歯科の改定率は0.61%と危機打開に程遠い内容になっている。中医協は2月の答申へ向け、改定率の枠内で論議を進める。

全体(ネット)の改定率は▲1.03%

2016年度
診療報酬改定

15年末に閣議決定した診療報酬の改定率は診療報酬本体で0.49%の微増となった。一方、材料価格も含めた薬価の改定率は▲1.33%。市場拡大に伴う薬価の見直しも含まれれば、▲1.80%で、診療報酬全体(ネット)の改定率は▲1.03%の大幅な下落となる。

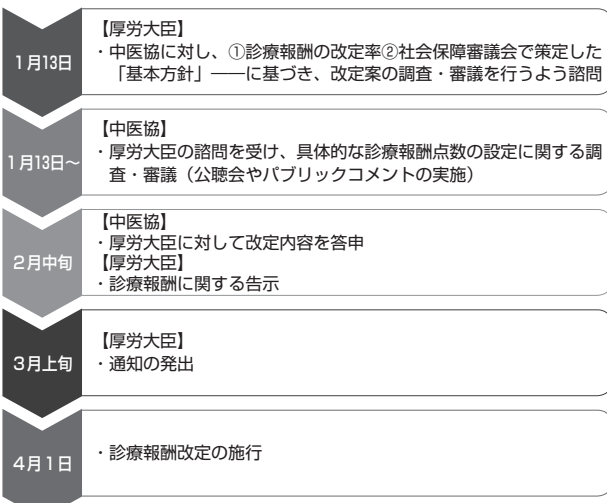
国費ベースでは、診療報酬本体のプラス改定分として約500億円上乗せされるが、薬価で約1900億円削減されることから、差し引きすると診療報酬全体でマイナス約1400億円もの財源が消えることになる。

政府は改定率の決定に先立ち、「骨太の方針」を策定し、厚労省に社会保障費の自然増分を17

■診療報酬改定率の推移

	診療報酬本体	内科	歯科	調剤	薬価等
2006	▲1.36%	▲1.5%	▲1.5%	▲0.6%	▲1.8%
2008	0.38%	0.42%	0.42%	0.17%	▲1.2%
2010	1.55%	1.74%	2.09%	0.52%	▲1.36%
2012	1.38%	1.55%	1.70%	0.46%	▲1.38%
2014 (消費税分)	0.73% (0.63%)	0.82% (0.71%)	0.99% (0.87%)	0.22% (0.18%)	▲0.63% (▲0.73%)
2016	0.49%	0.56%	0.61%	0.17%	▲1.33%

■診療報酬改定の流れ



改定に対応したことになっていた。同省は1700億円の8割にあたる約1400億円を診療報酬費を抑えることができると見込んでいる。

大阪府交渉 口腔崩壊の子どもも救え

医療費助成の拡充を迫る

協会は口腔保健事業の充実や審査・指導の改善などを求めて大阪府と2015年12月10日、交渉した。府が乳幼児医療費助成の所得制限を全国最低水準に改悪したことについて、協会は子どもの口腔崩壊の実態を示しながら改善を訴えた。

府への要望は医療費助成や国保、指導など13分野88項目。乳幼児医療の拡充要望に対して府が財源不足を理由に難色を示したため、就学時健診で前歯2本しかない子どもがいた「養護教諭の半数が口腔崩壊の児童を確認している」と指摘。対策を講じるよう訴えた。

協会は口腔保健事業の充実や審査・指導の改善などを求めて大阪府と2015年12月10日、交渉した。府が乳幼児医療費助成の所得制限を全国最低水準に改悪したことについて、協会は子どもの口腔崩壊の実態を示しながら改善を訴えた。

府への要望は医療費助成や国保、指導など13分野88項目。乳幼児医療の拡充要望に対して府が財源不足を理由に難色を示したため、就学時健診で前歯2本しかない子どもがいた「養護教諭の半数が口腔崩壊の児童を確認している」と指摘。対策を講じるよう訴えた。

12月度生涯研修講座

重大疾患の誤診防止へ 佐々木氏が見分け方を解説

臨床・学術部は、佐々木昇氏(尼崎中央病院歯科口腔外科部長)を講師に生涯研修「診療所でできる重大疾患の見分け方」を2015年12月13日、M&Dホールで開いた。107人が参加した。重大疾患は①生命に関わる②普通の治療では治癒しない③誤診しやすいという特徴がある。紹介患者を診ていても「早く発見できなかったか?」「心配することは無いの」と思うことが多々あるという。

佐々木氏は「顎関節症」を例に、重大疾患を見落とすことが少なくないと説明した。(東住吉区・森啓)

後に歯科関連の施策を充実させていることを紹介し、条例化を迫った。審査・指導では▽指導の休日実施▽指導結果の判定基準の明確化などを求めた。小澤理事長含め役員14人が参加した。

歯界

新春は好天に恵まれた。寝正月する人には穏やかで静かな休日だった。だが鼻を嗅ぐと澄んだ空気に火薬の匂いがする。

すべての国民に12桁の番号を割り振り、社会保障や税、収入などのあらゆる個人情報や国家が一元管理する「マイナンバー」制度が1月から始まった。今後、医療・社会保障はどう変質していくのか。同制度に詳しい自治体情報政策研究所代表の黒田充氏に解説してもらった。(新聞部)



いよいよマイナンバー制度が始まった。マイナンバーは社会保障や税金などで活用する番号制度だ。この連載では、そもそもなぜ、いまマイ

基軸

社会保障から考える「マイナンバー」制度 ①

自治体情報政策研究所代表 黒田充

乗せる形で作られたもの。小泉内閣が進めた構造改革は、国際競争力の強化を合い言葉として、大企業の税・社会保障負担の軽減や規制緩和、労働

た。「国に頼るな」「国をあたにするな」とばかりに自助自立や自己責任が強調され、社会保障費の総抑制とともに、介護保険の導入や保育の民営化など市場化・営利化が進

の反発も大きくなる。そこで、国民一人ひとりの条件に応じて削減していくことが考えられたのだ。それが「真」に支援が必要なのに対して公平な支援を行うことのできる仕組みの構築だ。

そのためには何が必要か。国や地方自治体、社会保険庁(現、日本年金機構)、健保組合、医療機関、介護保険事業者などが管理するコンピューターに記録されている国

民の個人情報や社会保障費の削減だけでは限界がある。国民から分ける仕組みの構築だ。

自助自立を迫る個人番号

国民一人ひとりの社会保障費を削減

マイナンバー制度は、納税者番号と小泉内閣が検討していた社会保障番号を合わせ、これを住基ネット(住民票コード)の上に

められた。社会保障番号は、そうした流れの中で出て来たものなのだ。

国民全体を対象とした社会保障費の削減だけでは限界がある。国民から分ける仕組みの構築だ。

民の個人情報や社会保障費の削減だけでは限界がある。国民から分ける仕組みの構築だ。

民の個人情報や社会保障費の削減だけでは限界がある。国民から分ける仕組みの構築だ。

今日の数字

約50億円

歯科の診療報酬改定プラス0.61%に要する国費。「マイナンバー」制度の初期費用の2%。

くらだ・みづる 1958年、大阪生まれ。松原市役所勤務を経て、立命館大学大学院社会学研究科で修士学位を取得。2002年に自治体情報政策研究所を設立し、代表を務める。大阪経済大学非常勤講師。著書に『O&A共通番号』が問題と解される社会保障―分けられる国民』など。

「火垂るの墓」の作者・故野坂昭如氏がここ数年に戦前の匂いがするという意味の危惧を表明していた。作家らしい鋭い勘による先見性だが、現実になることを阻止するのは後に残った人の責任だろう。

民の個人情報や社会保障費の削減だけでは限界がある。国民から分ける仕組みの構築だ。

民の個人情報や社会保障費の削減だけでは限界がある。国民から分ける仕組みの構築だ。

民の個人情報や社会保障費の削減だけでは限界がある。国民から分ける仕組みの構築だ。

民の個人情報や社会保障費の削減だけでは限界がある。国民から分ける仕組みの構築だ。

民の個人情報や社会保障費の削減だけでは限界がある。国民から分ける仕組みの構築だ。

民の個人情報や社会保障費の削減だけでは限界がある。国民から分ける仕組みの構築だ。